

ICT 教材・機器 活用事例

学部	中学部	学年等	2年	教科	音楽
授業名(単元名)	楽器の音当てクイズ				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①生徒用 iPad

各クラス 1 台を使用。写真アプリに各楽器を教員が演奏している様子をあらかじめ撮影して保存しておく。

カーテンの中で楽器の音を出し、それと同じ音のムービーをクラスで相談して選ぶ。各クラスの回答を発表する際には、選んだムービーを生徒が再生して、どれを選んだかを共有する。

②大型ディスプレイ

教員用 iPad に入っている PowerPoint スライド(楽器の写真と名前)を映し出す。

③教員用 iPad

正解(楽器の写真と名前)を PowerPoint スライドで作成。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ○<u>隠された楽器の音</u>を聞き、iPad に保存されているムービーの音と照らし合わせて正解を出す。 ○各クラスが選んだムービーを再生する。 ○その楽器名を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者に音を出してもらう。 ・クラスで 1 台の iPad を囲み、相談して答えを出す。 ・演奏者はカーテンの中から出て、何の楽器を鳴らしていたかを見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒用 iPad×4 ②大型ディスプレイ ③教員用 iPad ・楽器

3. 活用の成果

- ・iPad をクラス 1 台にするか、1 人 1 台にするか、ペアで 1 台にするかで悩んだが、結果としてクラス 1 台で正解だったように感じる。ふだんの音楽と違い、クラス単位で取り組み、サブの先生も担任がそこについていただいたことで、生徒はより楽しんで協働学習ができたのではと思う。
- ・ムービーの再生ボタンを押して正解の音を探す、というのが単純かつ簡単で、どの生徒でも取り組めた。また、各クラスが選んだ回答を発表するのも、再生ボタンを押すだけでいいので、そのような活動が苦手な生徒でも無理なく取り組めたように感じる。その役割分担も、サブの先生方が配慮くださり、偏りなく順番に発表の機会がまわるようにして下さっていたので、全員参加ができた。また、操作が得意な生徒が友だちに教えてあげる様子も見られた。